



10月うぶやま天文台イベント

九州大観望会

「星宴2022 in うぶやま」

～ひとりでは楽しめない宙がある～



天空が広がり、阿蘇・久住・祖母山系の山々を一望できる一覽三山の台があるうぶやまの高原には爽やかな秋風が吹いています。昨年度、コロナ禍のため2年ぶりに開催された九州大観望会『星宴 in うぶやま』が今年も開催されます。

本イベントは、秋の夜長に星空に興味を持っていただき、天の川や6等星まで見える素晴らしいうぶやまの星空を体験してもらおう催しです。この「星宴」は、天文ハウスTOMITAが九州では数少ない星祭り（夜通しの観望や様々な天文イベント）を行おうということで第1回は2012年に清和高原天文台で、2013年、2014年に福岡県星野村の星の文化館天文台、2015年に福岡久山町で開催されてきましたが、2016年の熊本地震により開催が自粛されていました。しかし、熊本地震で震度6強の揺れで大きな被害を受けた産山村を「声援＝星宴」しようと3年前の2019年に、4年ぶりに復活して開催されました。全国各地より約250人の天文ファンが集まり大盛況でした。2020年も引き続き開催予定でしたが、未曾有の新型コロナ禍のために中止しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の感染状況が比較的落ち着いたもので、初めての試みとして『星宴2021』リアル開催と『星宴2021VR』のWEB上での2本立てで実施し、九州を中心に全国各地より100人以上の天文ファンが集いました。今年も第7波の流行中ではありますが、感染状況も比較的落ち着いたもので、今後の感染状況を見ながら三密を避け、感染防止の対策を十分とっての開催の運びとなりました。

「星宴」はうぶやま天文台の建設に関わった天文ハウスTOMITAと産山村との共催で開催します。産山村や村民が一丸となって協力します。子どもや大人も楽しめるように、明るいうちには星空スタンプラリー、天体写真撮影講座などの天文講座、天文機材メーカーの展示ブース、産山村の特産品販売コーナーなども設定される予定です。参加料は無料で、うぶやま天文台の入館料も無料ですが、当日雨天の場合は中止になります。夜間は、天文台の大型望遠鏡や天文台の周りに設置された数十台の天文ファン自慢の天体望遠鏡で現在見頃の2大惑星（土星・木星）の表面の詳細等を見ることが出来ます。また、東から昇ってくる秋の星座や星雲・星団、12月に地球に接近する火星、私たちの住む天の川宇宙の隣の宇宙であるアンドロメダ銀河（M31）、秋の宝石といわれるペルセウス座の二重星団（ η と χ ）などが楽しめます。

10年前、当時の産山小中学校の9年生が子ども議会で「村の宝である産山の星空を村外の多くの人に紹介してほしい」という提案からうぶやま天文台が完成し、これらを全国の自然を愛する人々に紹介され、子どもたちの願いが現実のものになりました。秋の夜長を素晴らしいうぶやまの星空で過ごされませんか？この時期の会場周辺の夜の気温はかなり下がりますので、防寒対策を十分とってお越しください。詳細につきましては、天文ハウスTOMITAのホームページをご覧ください。

期 日	:	令和4年10月1日（土）～2日（日）
場 所	:	ファームビレッジ産山・うぶやま天文台 （熊本県阿蘇郡産山村大字大利585）
時 間	:	17時00分～翌日10時00分
観察対象	:	次ページに掲載
持 参 物	:	防寒着（高原の秋夜は冷えます） ライト（星座早見盤を照らすもの）
料 金	:	入場料は全員無料（ただし、特産品販売ブース等有料箇所あり）

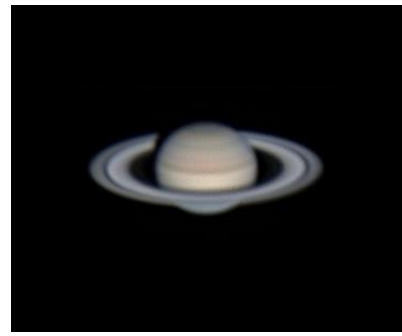
天文台での観察対象



木星



アンドロメダ銀河 (M31)



環の傾きが緩やかな土星



プレアデス星団 (スバル) M45



ペルセウス座二重星団 (hとx)

当日のプログラム

受付開始	16:30	~ (受付終了 19:00)
持込機材搬入・設置	16:30	~ 19:00
開会式	17:00	~
集合写真撮影	17:30	~
星空スタンプラリー	17:30	~
九州大観望会	17:30	~ 翌日 10:00
閉会式・撤収	10:00	



※産山村の特産品の販売は産山村観光協会未来ラボのブースで 17:00~21:00 頃まで行う予定です。